

# D X推進 実証スタート

## 崇城大など21団体連携

D X推進で地域課題解決を目指す実証実験について説明をする星合隆成・崇城大IoT・AIセンター長(右) 24日、熊本市西区



崇城大IoT・AIセンターや県内を中心とする自治体、企業、学校、病院などの計21団体は24日、デジタルトランスフォーメーション(D X)の推進により地域課題の解決を目指す実証実験を始めると発表した。それぞれの技術や資源を掛け合わせたD Xによる地域活性化を目指す。

参加するのは崇城大のほか熊本市、上天草市、NTT西日本、肥後銀行、ニコニコ・ワン、道の駅阿蘇、熊本YMCA学院、谷田病院、熊本放送など。テーママ

ごとに複数のワーキンググループを作り実証を進める。具体的には、参加企業が持つ人工知能(AI)やインターネット上の仮想空間「メタバース」といった技術を使い、観光客の回遊情報を分析したり、各社の業務効率化につなげたりすることを想定している。

熊本市西区の同大であった説明会で、星合隆成IoT・AIセンター長は「実証で得たデータや知見を生かし、3年後を目標に共通基盤の構築を目指したい」と話した。(山本文子)